

山口和男の議会報告



連絡先
八王子市裏高尾町518
TEL 666-5801
FAX 664-1061

日本共産党八王子市議団
TEL 620-7317
FAX 626-3398

2月28日から3月28日までの会期で市議会第一回定例会が開かれました。審議の中で石森市政の新年度予算の最大の目玉政策として新聞報道された、特別養護老人ホーム整備費

補助に重大な疑惑が生まれました。日本共産党市議団は今予算案の最大の問題点として追及し、公正、公平な行政を求める立場から事業の中止を求めました。

“本人が言っているの。一五四床やるつもりなんです。”

補助制度の内容は、医療対応や看取り介護が可能な特別養護老人ホームを建設する事業者に一床当たり三百万円、応募床数一五四床、総額四億六千二百万円を補助しようとするもの。三月一日からすでに募集を開始し、四月に応募を締め、五月六月で審査を行い、七月に事業者を決定するスケジュール。

予算審査特別委員会の冒頭、この問題を取り上げた自民党新政会のT議員は「特養のこれが応募要領なんですか。まるで病院を建設する応募要領です」とし、「応募要領の要件と特養の要件が一致している。本人がもう言っているの。一五四床をやると

言っているの。」とすでに具体的な事業者が決定している旨の発言が行われました。そして「接触した議員がいるでしょう。誰と接触したんだ」との問いに、担当課長は「今年度、四月にF議員からご提案をいただいております」と答弁。特養ホームへの今回の助成制度は、自民党新政会のF議員の提案であることが明らかになりました。そして、「この施設といつから議論を始めたの」との問いに担当課長から「4月にF議員から提案をいただいた後、八王子市内で唯一10項目をしている施設に対して現場視察を実施させていただいた。五月ぐらいと記憶している」と答弁がされました。

自民党F議員と“本人”の関係もホームページで明白

「本人」のホームページから

- 八王子市議会議員のF氏の新春を祝う会に参加させていだいた。
- 12月土曜日F議員総決起大会での挨拶。
- F市議会議員のパーティーが開催され市長はじめ皆さん参加されていました。
- 子安町で委託を受けた地域包括支援センターの内装工事が終了しました。F工務店さんに工事を依頼し〜。

特養ホーム建設をめぐる重大疑惑！ 1ベット300万円 総額4億6200万円を市が助成



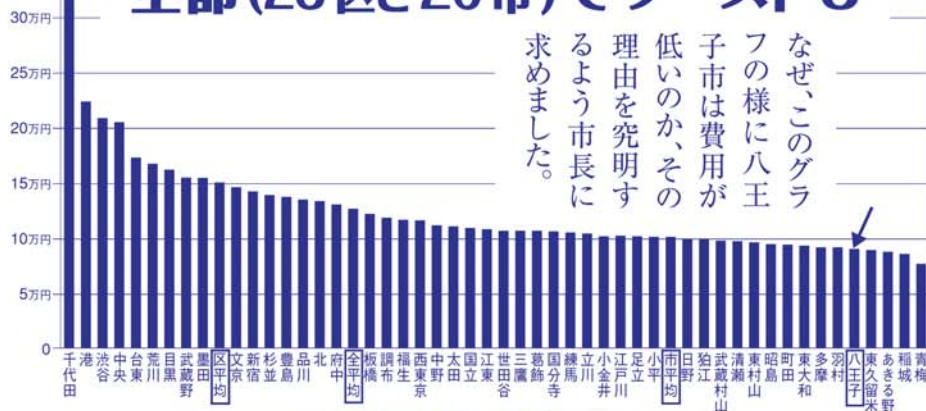
予算審査特別委員会での発言（写真は2012年3月）

今後のスケジュール

平成25年	3月	特別養護老人ホーム整備運営候補事業者募集開始
	4月	応募締切
	5、6月	審査
	7月	整備運営候補事業者決定
	9月	都補助金協議
平成26年	6月	都補助金内示
	10月	施設建設工事開始
平成27年	12月	竣工
平成28年	2月	施設開所

今後、指摘のあった事業者が応募し、最終的に選定されるかどうか、それとも58万市民への信頼を優先させ、賢明な判断を石森市政が下すのか、注目されます。

高齢者一人あたり老人福祉費は 全都(23区と26市)でワースト5



— 石森市長の答弁 —

今ではじめてそのグラフを見させていただきました。他市等もどのような形でそういった数字が出ているのか確認させていただきたい。

八王子市 夢美術館

展覧会スケジュール 2013.4→2014.3
Exhibitions Schedule for 2013.4→2014.3, Hachioji Yume Art Museum



八王子夢美術館で市民の作品の展示の回数をふやすよう提案しました。
青梅市立美術館では年5回から6回、武蔵野市立吉祥寺美術館では年12回、市民の作品展を行なっています。八王子市では、2年に1回、公募展「夢ピエナーレ」しかありません。私の提案に、市長は次のように答弁しました。

— 石森市長の答弁 —

市民の発表する機会、これはできるだけ発表できるように方向で検討していきたい。

八王子夢美術館で 市民の作品展をふやして

3月13日ケーブルテレビでも放映された予算審査特別委員会、この間、市民の皆さんから寄せられた4つの要望を取り上げ質疑を行いました。
①つは、八王子夢美術館での市民の作品の展示の



芽吹きの美しい初沢町の 金刀比羅山の公有化を

高尾駅の西側に立つ金刀比羅山。高尾に住む人にとって春の芽吹きの美しいをはじめかけがえない自然です。ところが、所有者の矢野学園が2月26日、大阪に本社のある土木会社に売却したことが明らかとなりました。すでに東京都の緑の確保方針でこの場所を公有化する方針を決定していることを取り上げ、公有化を市にせま

— 村松副市長の答弁 —

確保の方法として公有化も視野に入れながら適切な手法を検討していきたい。

高齢者肺炎球菌ワクチン 年齢を引き下げて

肺炎による死亡率は第4位。昨年から75歳以上の方を対象にワクチン接種の助成(四千元)をはじめましたが、三多摩で実施している24市のうち、八王子市以外はすべて六十五歳以上。しかも立川市など六市では人工透析患者の方など障害のある方は六十歳以上になっています。私は年齢を引き下げるよう提案しました。



— 石森市長の答弁 —

高齢者が多く発生する疾病であることから段階的に拡充して生きたい。

機会をふやすことについて②つは、高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種助成で対象年齢を引き下げること③つは、高齢者一人当たり予算について④つは、初沢町の金刀比羅山の公有化について